

佐賀市 11 歴史探訪

さがじょう でいりぐち 佐賀城の出入口

佐賀城の門といえば「鯨の門」を思い浮かべますが、現存する鯨の門は本丸の門として天保9(1838)年に建設されたものです。江戸時代、広い城濠に阻まれた佐賀城の出入口は4カ所設置され、それぞれに門がありました。これらの門の古写真や詳細な絵図は残っていませんが、「佐賀城分間御絵図」に簡単に描かれているものからその姿を偲んでみましょう。

「①北御門」佐賀県議会議事堂の北西にあったものです。佐賀城北の御門には「大手門」の呼称はありませんが、メインゲートの性格を有するものといえます。

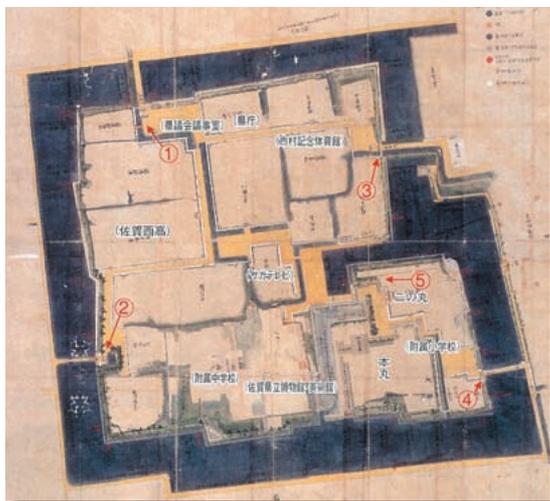
「②西御門」城内西堀端に所在していました。この門の東側には、鉤型の土塁があり、城内の遠望ができないように工夫されています。

「③東御門」市村体育館の東にある土塁が東西道路により分断されているところにありました。

「④裏御門」佐賀大学附属小学校の東側に南北に走る道路が東に折れ曲がるころにありました。

これらの門は略図として描かれているので詳しくはわかりませんが「高麗門」という形式の門ではなかったろうかと思われます。

現在、佐賀城内に行く場合、さえぎるものはありませんが、当時は厳しい警備がなされていたようです。



▲佐賀城分間御絵図 ()内は現在の建物

一口メモ

今回掲載した「佐賀城分間御絵図」は寛政8(1796)年に描かれたものです。絵図をよく見ると、本丸の門(現在の鯨の門があるところ)が小さく、二の丸の門(⑤)が大きく描かれ、その屋根には「鯨」が乗っています。

このわけは、享保11(1726)年の佐賀城大火以後の約110年間は、本丸が再建されず藩政の中心は二の丸となっていたからです。



◀北の御門絵図

①
▼現在の北の御門跡



県議会議事堂付近



◀西の御門絵図

②
▼現在の西の御門跡



西御門付近



◀東の御門絵図

③
▼現在の東の御門跡



市村体育館南西付近



◀裏御門絵図

④
▼現在の裏御門跡



附属小学校付近